

来年はねずみ年、 自らの生命力を高める年にしましょう

冬期開園が始まっています。この期間中は西門前付近の駐車場を無料で利用できますが、これは地主さんのご厚意によるものです。多くの来園者を迎えることができ、とても感謝しています。



冬も元気な姿を見せるサルたち



話は変わりますが、園内にいる動物で1番数が多いのは、実はドブネズミとクマネズミです。動物園に限らず、人が生活している場所には、ほぼ間違いなくいます。夏の日暮れ時には、園内を走る姿を見ることがあります。テナガザルの堀の中に落ちていることもあります。日中は、ほぼ気配を感じないのですが、彼らは常に生きるためのあらゆる可能性を探っています。

クマネズミは足掛かりがある木の壁や柱を駆け上り、ドブネズミは排水管の中を走り回ります。積雪が進むと、彼らは雪の中にトンネルを張り巡らせて移動します。隙あらば食べ物のある獣舎内への侵入を企てます。昨シーズンは数か所で侵入されました。ニホンザルの寝室では、暖房機の配線が何度かかじられました。ニホンザルが寝室に入ります扉は夜間開放しているので、そこから侵入したと思われる。しかし、ふんなどのネズミが生活している痕跡が見当たりません。なんとネズミはニホンザルの放飼場の根雪の中に居を構え、夜な夜な寝室内に侵入していたのです。担当者が雪割り作業をしていたら、まだ目も開いていないほど小さな子ネズミがたくさん見つかりました。そういうえば、昔、マイナス20度に保たれた真つ暗な冷凍庫内の大きな霜の中に、クマネズミが巣穴を掘り、繁殖していたことがありました。

ドブネズミやクマネズミは、ときに小動物をも捕食します。動物園にとっては害獣です。でもその生命力には頭が下がります。来年はねずみ年。私たちも自らの生命力、適応力を高める年にしなければなりません。



旭山ピックアップ
旭山動物園
サテライトミーティング
～ゾウの未来は私たちの未来

坂東園長が、ボルネオ島の現状や、パーム油と日本人の関係について紹介。私たちの日常とボルネオ島の関わりを、みんなで考えます。
回12/19(木) 18:30~20:00

国際交流センター (1の8 フィール旭川7階)
対高校生以上
定30人
申同園HP



旭山動物園をもっと楽しむ
とことん旭山
内日 ●開園前一人占め=1/11(土) 9:25から ●動物園裏側探検 さりん舎・かば館編=1/18(土) 11:00から 定各20人
申電話で各日3週間前9:00から

旭山動物園 読書感想文コンクール作品募集
小学生を対象に、動物について書かれた本の感想文を募集。学校を通して1/24(金)までに応募してください。
※詳細は同園HPに掲載。

旭山動物園 動物ふれあいフォトコンテスト作品募集
「楽しかった動物園」をテーマに、動物の生き生きとした表情や愉快なしぐさの写真を募集。1/31(金)までに、同園各門、同園HPにある応募券を写真(Lサイズ・カラー)の裏面に貼り、データを保存したCDと一緒に郵送してください。